

取り付け上の注意

● 取り付け穴・取り付けねじ

取り付けの際は強度区分10.9の六角穴付き皿ねじをご使用ください。

リニアスライドレールの取り付け穴はすべて使用してください。スライドの干渉などで使用できない取り付け穴がある場合、その穴以外をすべて使用してください。

TSJ、**TSL**、**TSM** はストッパを取りはずすことでレールもしくはランナーを移動させ、すべての取り付け穴を使用することができます。その後ストッパを再度取り付けてください。

TSI、**TSJ**、**TSL-GG**、**TSL-DG** のランナーにねじを取りつける際は、レールとの干渉を防ぐためねじ先端がランナーから飛び出さないようにしてください。

使用上の注意

● 定格荷重

各リニアスライドレールの定格荷重は1本あたりの値であり、適切な安全率を考慮して設計してください。

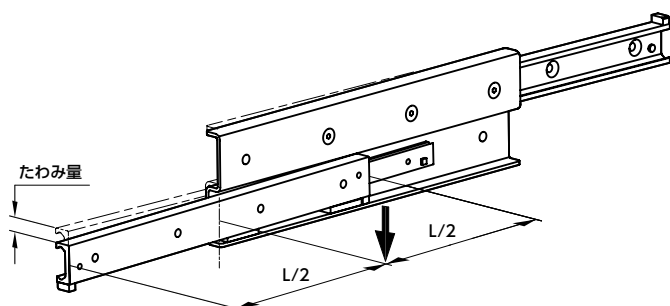
定格荷重は、リニアスライドレールを全開位置までスライドさせた状態で、レールまたはランナーの中心部に垂直下向きに作用する力を指します。

定格荷重は参考値であり、保証値ではありません。また使用環境や経年劣化によって定格荷重は変化します。

事前に実際と同じ使用条件で動作確認を行ってください。

● たわみ量

リニアスライドレールは全開位置で荷重が加わると定格荷重範囲内でもわずかなたわみを生じますが、機能に影響はありません。



● 移動速度

リニアスライドレールの最高移動速度は0.8m/sです。

● ボールクリープ

リニアスライドレールは急な開閉の切り替えや急加速が加わると、特にボールケージ全長が長いものでボールクリープが発生しやすくなります。

ボールクリープが発生した場合、ボールケージは中間スライドやインナースライドの半分程度の速度で同期して動くことができず、本来位置する場所から離れる可能性があります。

また、移動量が通常より少なくなる可能性があります。

ボールケージを本来の位置に戻すためには、リニアスライドレールを全開位置と全閉位置に動かしてください。